

2005年防災教育チャレンジプラン最終報告書

記入日2006年 1月 31日

I 概要

実践団体・担当者名	高知県立高知東高等学校（担当者：谷内 康浩・小川 晴美）	
連絡先	高知県高知市一宮徳谷23-1 電話088（845）5751	
プランタイトル	徳島県立防災センターでの防災体験と石の博物館での学習旅行	
目的	災害特性を踏まえた防災に関する知識や防災意識の向上、防災行動力の強化を図るため、体験施設での研修を行います。また、岩石や鉱物（宝石）、隕石を直接観察することにより、地球の成り立ちについて理解を深めます。	
プランの概略	<p>○日程 高知東高校発→高速道→徳島県立防災センター→（昼食）→太刀野の中央構造線露頭見学→ラピス大歩危→大豊 IC→高速道→高知東高校着</p> <p>○内容 ・徳島県立防災センター：地震体験・消火体験・煙体験・風雨体験・通報体験など ・ラピス大歩危：岩石や鉱物の観察 ・車中：四国の地質や中央構造線について学び、地震活動によって日本列島ができたことを理解する。</p>	
プランの対象と参加人数	全校生徒および教職員対象に募集 参加者：生徒24名、教職員7名	
実施日時	2005年7月20日（水曜日）	
主な実施場所	徳島県立防災センター ラピス大歩危（石の博物館）	
連携した団体名、連携の方法	連携団体の有無	無し
	連携した団体名	
	連携したきっかけ・理由	
	連携団体へのアプローチ方法	
	連携団体との打合せ回数	
	連携団体との役割分担	

II プラン立案過程

プラン立案メンバーの	団体内のスタッフ総人数	11名（校内地震防災プロジェクト委員会メンバー）
	外部スタッフの総人数	0名

人数・役割	主なメンバーの 役職・役割	校長（1名） 教頭（2名） 事務長（1名） 教諭（6名） 実習助手（1名）
プラン立案に要した 日数・時間	立案期間	2005年5月
	立案時間	1時間×1回
	上記のうち打合せ回数	1回
プラン立案で 注意を払った点 工夫した点	○単に徳島県立防災センターでの研修だけではなく、その行程を有効に使い、地球や地震について学ぶメニューを入れること。	
プラン立案で 苦労した点		

Ⅲ実践にあたっての準備

準備に関わった方 と人数・役割	団体内のスタッフ総人数	11名（校内地震防災プロジェクト委員会メンバー）
	外部スタッフの総人数	0名
	主なメンバーの 役職・役割	校長（1名） 教頭（2名） 事務長（1名） 教諭（6名） 実習助手（1名）
準備に要した日 数・時間	準備期間	2005年6月～7月
	準備総時間	3時間×1（ガイドブック作成） 1時間×1（打合せ）
	上記の内打合せ回数	1回
教育関係への 働きかけ	働きかけた教育関係者・ 機関名	
	どのように働きかけたか	
	結果	
地域への 働きかけ	働きかけた地域の人・ 機関名	
	どのように働きかけたか	
	結果	

保護者・PTAへの働きかけ	働きかけた保護者・PTA組織名	
	どのように働きかけたか	
	結果	
機材・教材の準備方法	用意した機材・教材	機材：アンプ付スピーカー 教材：地震・防災に関するビデオソフト
	入手先・入手方法	機材、教材とも校内
	機材・教材選定の理由(なぜこの機材・教材を選んだのか)	機材：アンプ付スピーカーは、フィールドワークでの説明に利用 教材：地震・防災に関するビデオソフトは、車中での学習に利用
参加者の募集	募集方法	○ホーム担任や校内放送を利用しての参加の呼びかけ ○校内・各教室に募集のポスターを掲示
	募集期間	2005年6月23日～7月19日
	参加予想人数	50名
	実際の参加人数	31名
	募集方法の成功点	○「地学」選択生が多く参加した。
	募集方法の失敗点	○1年次生は、社会体験学習の期間と重なるため、参加が無理な日程となってしまう、2・3年次生のみとなってしまった。
準備で苦労した点・工夫した点	○自由参加としたため、興味・関心のある生徒が中心となることは予想されたが、夏休みに入った時期でもあり、参加者の確保に苦労した。 ○ガイドブックは、終了後も読み物として使えるように工夫した。	

IV タイムスケジュール（プラン立案から実践終了までのスケジュールを記載して下さい。）

	プラン立案	実践にあたっての準備	実践
2004 11月			
12月			

2005 1月			
2月			
3月			
4月			
5月	○5/31 第1回地震防災プロジェクト委員会にて日程確認		
6月		○研修場所との連絡・調整 ○参加者募集	
7月		○ガイドブックの作成	7/20 学習旅行の実施
8月			
9月			
10月			
11月			
12月			
2006 1月			

V実践の詳細 【A. 素材】(メインとなる活動を45分を1コマとして記入して下さい。)

タイトル				
実施日				
所要時間	45分			
達成目標				
生成物				
進め方 (箇条書き)				
ツール (特別に用意した もの)				
場所				

V実践の詳細 【B. イベント】(短期集中型のプログラムを45分を1コマとして記入して下さい。)

タイトル				
実施日				
所要時間	45分	45分	45分	45分
達成目標				
生成物				
進め方 (箇条書き)				
ツール (特別に用意した もの)				
場所				

V実践の詳細 【C. 総合的な学習の時間】(継続的な学習を45分を1コマとして記入して下さい。)

タイトル				
実施日				
所要時間	45分	45分	45分	45分
達成目標				
生成物				
進め方 (箇条書き)				
ツール (特別に用意した もの)				
場所				

VI実践後

参加者へのアンケート結果	<p>生徒の感想から（抜粋）</p> <p>○報道での被災した人たちの声を上げさだと思っていたけど、全くその通りだと思った。災害にニュースを見る姿勢が変わると思う。</p> <p>○初めて体験したことは、本番でも活かせそう。あとは冷静さのみ。</p> <p>○このような防災体験をまとめて行える施設は、高知県にも必要だ。</p> <p>参加者は、体験を通して災害時のイメージづくりができた。</p>	
成果として得たこと	<p>○当初の目的である、災害特性を踏まえた防災に関する知識や防災意識の向上、防災行動力の強化を図ることができた。</p> <p>○実際に岩石や鉱物、地層を観察することで、地球科学に対して興味・関心を高めることができた。</p>	
成果物	<p>（学習指導案、指導計画書、配布物、ワークシート、報告書、掲載記事等。データがあればデータファイルを貼付して下さい。）</p> <p>○実施要項 ○募集中ポスター ○ガイドブック ○写真</p>	
広報方法	広報した先	
	広報の方法	
	取材にきたマスコミ	
	広報された内容（掲載された記事・番組等）	
	成功点	
	失敗点	
全体の感想と反省・課題	<p>○高知県には、総合的に防災を学ぶ施設がないため、今回の学習旅行は大変有意義なものであった。</p> <p>○参加者数が、バスの定員に満たなかったことが残念であった。実施時期の検討が必要。</p> <p>○今回の研修結果を踏まえ、高知県にも総合的に防災を学ぶ施設を設置するよう、危機管理課に要望した。</p>	
今後の予定	来年度以降の進め方	○バス代が確保できれば、徳島県や香川県の防災センターでの研修を継続したい。
	是非実施してみたい取り組み	○消防学校での体験入学を通して、防災体験を実施したい。

<p>自由記述</p>	
-------------	--